

『あなたは神の鏡』 ～～くもりを取り除け～ 【Ⅱ3：13～18】

世界には“天を移す鏡”と呼ばれている湖があります。そこは空をそのまま映しています。空が晴れば、湖面も晴れたようになり、空がくもれば、湖面もくもってみえます。写真でみると上下対称の世界です。これは神様と人との関係を表しているように感じます。鏡である人間がくもっていても神様が常に輝いていても映す事ができなくなります。そのために①罪を知り、改めることが必要になります。人には自由意志が与えられています。最初の人であるアダムは神様ではなく、悪魔に従ってしまいます。神様は悔い改めるチャンスのアダムに与えますが、応える事ができませんでした。そのためエデンの園から追い出されました。しかし、神様の愛は救いの道を計画し、イエスキリストの十字架により”完了”しました。私たちが十字架の愛を受け取り、罪を悔い改め、くもった鏡を磨くだけで良いのです。イザヤ59：1～2にあるように私たちの罪が神様との隔たりとなります。素直に悔い改める必要があります。そのために②自分に欺かないことです。私たちは神様からの思いを感じています。それは人を通したり、自分の心に響いたりしてきます。自分の心の声に敏感になりましょう。悪魔は1番大事なことを聞かせないようにするために欺かせます。では心に響いてきた声はどのような内容でしょうか。③神・自分との約束を守ることです。神様との約束や自分ですると決めたことを実行していくために語られていないでしょうか。私たちが失格者とならないために約束を実行していきましょう。約束を守っていく中で、天を映す鏡のようになりましょう。